

京都教区時報

京都教区広報委員会
(編集長 村上透磨)

京都教区本部事務局
京都市中京区
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2頁 「気兼ねなく滞在できる家」小教区(鈴鹿教会)

3頁～4頁 2019年 大阪教会管区司牧者研修会「青年にきく」

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 079-431-8601

2019年 司教年頭書簡を読む⑥

移住者に無関心ではいけない

教皇フランシスコは、今年の「世界難民移住移動者の日」のメッセージで、次のように述べられています。

「わたしたちの家の扉をたたく外国人は皆、イエス・キリストと出会うための一つの機会です。イエスは迎え入れられたり、拒絶されたりしているあらゆる時代の外国人の内におられるからです(マタイ25・35、43参照)。主は、よりよい未来を求めて祖国を去らざるをえない人々を一人ひとり、教会の母なる愛にゆだねておられます。この心遣いを、移住のあらゆる段階―出国から移動を経て入国、帰国まで―で具体的に表わさなければなりません。これは重大な責任です。教会はその責任をすべての信者と善意の人々と共有したいと望んでいます。それらの人々は、現代における移住現象が抱える多くの課題に、寛容さと迅速さと知恵と洞察力をもって、自らの能力に応じて取り組むよう求められています。」

ニュースで流される世界各地の難民の映像を見てみると、別世界の出来事のように思っ

てしまいます。それではいけないのです。私達の身近なところにも、移住者がおられます。今、私達の周りで、また、世界中で、何が起きているのか、いつも注意深く見守っていくことが大切です。

(瀧野正三郎)



バンギの難民キャンプ

8
2019



「一つの教会」

鈴鹿教会 山本 康成

5月19日に開催されました教区主催の「青年の集い」の受付をしていた時のことです。ベトナムの人たちが受付に来てくれました。最初に来た人たちは、何とか私が言っていることを理解してくれて、受付を済ませることができました。しかしながら、次のベトナムの人たちのグループには、なかなか言葉が通じなくて困っていました。私は困り果てて、先ほど受付を済ませた人たちに助けを求めて、手伝ってもらいました。



た。それ以降、最初に受付をしてくれた人たちが手伝ってくれたので、すごく助かり、そしてうれしかったです。

これは、ただ単なる出来事の一つです。しかし、外国籍の方々とのコミュニケーションを図る上での良い例のように思います。意思の疎通を図るには、最低限の言葉によるコミュニケーションができる必要があると思います。そのコミュニケーションを図ることができるとして、他の方々とコミュニケーションが可能となります。

ある程度コミュニケーションが図られるようになった上で、今度は何かの行事の時に一緒に作業をすることによって、お互いの価値観の差を認識して、「あの人たちがあのような行動を取るのには、こういう理由からなのだ」という理解ができるようになります。

鈴鹿教会では、セニョール・デ・ロス・ミラグロス、ペルーの方々のみのイベントではなく、鈴鹿教会のイベントとなっています。このイベントを通して、ペルーの方々とのみではなく、他の国の方々とも仲良くなり、お互いを理解することができるようになりました。

また、今年からは、フィリピンの方々を中心として、フローレス・デ・マヨも実施しました。マリア様の銅像にお花をささげるフィリピンの伝統的な行事です。子供用のお神輿を作って、警察署に



も申請を出した上で、教会の近くの一般の歩道を、短い距離ですが行進もしました。

年に数回、国際ミサを実施したり、そのミサ後にすべてのコミュニティーが一

緒になってパーティーを実施したりします。その時は、各国の料理を持ち寄って親睦を深めています。ふだん見ない料理があることによって、話題が広がって話に花が咲いて、お互いの文化をより深く理解することが出来ます。

4名の役員のうち、2名は日本人以外の方々ですので、評議会の決定事項も遅れることなく、他のコミュニティーに伝えられます。

お知らせを多国語で発行しようと数年前から計画しているのですが、なかなか実現できていません。日本人以外の役員の方々がいる時がチャンスですので、実現できればと思っています。

これからも、各コミュニティのリーダーの方を中心として、お互いに親睦と理解を深めて真の「一つの教会」になれるように努力していきたいと思えます。

(写真は「2019 青年の集い」)



6月18日〜20日に、大阪梅田教会（サクラファミリア）で、第12回大阪教区管区司牧者研修会が行われました。テーマは「青年に聞く」というもので、管内5教区（名古屋・京都・大阪・広島・高松教区）から、約150名の司教、司祭、助祭、修道者が集まり、青年達の声に耳を傾けました。京都教区からは山科教会の畑智子さんが発表しました。

「青年にきく」

山科教会 畑 智子

私は成人洗礼で信者になりました。初めて教会に入ったのは高校生の頃でした。その時はまだ学生だったので、高校生だからという事で、すぐに教育部の担当者を紹介していただきました。私も教育系の大学に入ったのをきっかけに、

様々な青少年対象の教会活動に、リーダーやスタッフとして参加し、そこで初めて、他の教会の青年達と関わる事ができました。私はこうした活動を通して教会に私の役割があることに喜びややりがいを感じます。しかし、今では、所属する教会にくる青年の人数は、少なくなりました。

教会での活動に参加しているとき、信者の方々から「あなたは若いから夢があつていいね」とか「あなたはまだまだ将来があるからねえ」と頻繁に言われます。先日他教会のある方々からそのように言われたのですが、毎回このよう

な声をきく度、私自身が教会で初めてできた同年代の友達のことを思い出します。友達は病気になるかかり、大学生の時に亡くなりました。私は友達のことを思うと胸が痛くなります。また、知人の友達は殺人事件に巻き込まれたそうで、今でも心の傷を負っ



ています。東日本大震災の津波にのまれた青年も多くいます。高齢化社会である日本において、確かに青年は体力的に強い面もあり、今後の教会活動を担っていく人材であると思います。時代の変化を見てきて経験豊富な方々からみれば、私達は比較的经验も浅いものの、世代交代という意も兼ねて、今後の教会を築いていけるように、期待されていると思います。でも私達青年がいつも明るい夢を持っているとは限らず、また将来のある若者だと保証されているわけではありません。今年のワールドユースデーパナマ大会に参加したとき、教皇様が世界中の

青年たちに「明日でなく今を生きなさい」と言われたことが私は印象に残りました。

私はまだ若いですが、自分の信仰生活を振り返ることがあります。フランシスコ教皇様が推奨された、エコロジーの回勅をとりあげた「ラウダート・シ」を認識する度、自分がみてきた世界規模での自然環境の違いを思い起こします。豊かな自然に囲まれたある村では、自分たちで木を切って住み家を作り、澄んだ湖水を浴び、釣った魚を糧として食べ、厳しい冬の寒さに耐えて自然と共にくらす人々の姿。逆に地球の反対側では砂ぼこりの入り混じった空気を吸い、濁った川のほとりで生活している青年達が、お金を稼ぐために一日中、手足で舟を漕いで往復している姿、またある都会では生き物の住む海や川、森などにごみなどを無意識で捨てている青年たちの姿などをみました。同じ世代であっても、このように周りの環境によって、生き方が本当に様々なんだと実感し、私は複雑な気持ちになりました。これは私の経験を通してみてきたものであり、他の青年はまた別の経験を通して違ったものを感じていることと思います。私は今回のように語る機会をいただいています。他の多

くの青年達は、なかなか自分たちの経験を語れる場がありません。私は留学していて日本の教会を離れていた時期がありました。日本を離れていた時期が戻ってまず信者の方々から言われたのは、「外国にいたのね。若いからすごいね」という言葉でした。私は教会の方々が歓迎して下さったのを嬉しく思ったと同時に、私が経験してきた喜びと苦悩を結局話せず、少し悲しくなりました。確かに若いのは事実ですが、知らずに年齢層の壁がつくられ、無意識に若いという先入観だけをもたれてしまうと、なかなか平等に分かち合う事ができないように感じます。

西陣教会内にある望洋庵は、カリタス修道女会のシスター方や、神父様方、司教様の支えによって、運営されています。シスター方や神父様と共に食事をして、青年達が聖書入門講座や黙想会などの講話をし、青年同士で各テーマに基づく経験などを語り分かち合います。最後には、キャンドルを灯して部屋の電気を消し、しずかに黙想をして振り返りを行うのです。年齢や学生、社会人など関係なく、様々な地域から青年達が望洋庵を訪れています。私が最近、そこにいた青年たちから直接きいたのは、「望洋庵の

ように、信者も未信者も関係なく、神様のことを考える時間ができて、広く扉が開かれている場所がもっとあるといいな」といった内容でした。ここでは世代の違う人も集まりますが、年齢層の壁をあまり感じることはありません。実際、あらゆるきっかけで、勇気をもって初めて望洋庵を訪れた、未信者の青年たちは、求道者となり、望洋庵で行われる準備講座を受けて洗礼を受けられます。この望洋庵から次々と新しい芽が出ているのです。私自身、望洋庵にいと、何故か心が落ち着き、シスター方や神父様、その場にいる青年みんな夕の祈りを唱え、御聖体が顕示されている間黙想していると、それまで仕事や人間関係などで辛いと感じていたことを、信仰生活の中で歩むべき苦難の道だと思い、受け入れられるようになってきます。

青年達が、各教会や教区をこえて集い、交流だけではなく共に祈り、典礼について勉強したり、分かち合ったり、静かに黙想できる場所、そして青年と青年以外の信徒が、お互いの経験や信仰について分かち合える場所が、今後もっと身近なところにあることを願っています。

8月のお知らせ

教 区

京都教区カトリック正義と平和協議会

／Tel.075(223)2291 ㊦

第12回 戦争と平和写真展

「沖縄 フクシマ チェジュ」

日 時：3日㊦ 15:00～20:00

4日㊦ 7:00～15:00

DVD上映「大地を受け継ぐ」

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

入 場：無料

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

練 習：4日㊦ 14:00/24日㊦ 18:00 ミサ奉仕後
カトリック会館6階

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星スカパー・ケーブル)スカイA

毎週土曜日 朝7:45

シリーズ「自分を深く知るために」

出演は Sr.小野 恭世(イエズス孝女会)

ラジオ(KBS京都) ㊦～㊧ 朝5:55

㊦ 朝5:15

8月のテーマ「夏の思い出」

京都キリシタン研究会

都の南蛮寺跡記念ミサ

日 時：25日㊦ 14:00 ミサ

14:50 研究テーマ発表と

分かち合い

15:30 ミニ巡礼(希望者)

18:00 懇親会(懇親会参加は

事前申込要/会場は別

途案内)

司 式：ユン・サンホ師(洛東ブロック)

会 場：ウィングス京都(京都市男女共

同参画センター)京都市中京区

東洞院通六角下る

問合せ：090(2381)4630 古澤

司祭の任命

9月1日付(2020年4月12日まで)

京都南部 洛北ブロック

担当司祭 一場 修師

(洛東ブロック担当司祭・兼務)

※ 10月号の原稿締切り日は8月21日㊦です。

中学生会広島平和巡礼

唐崎教会 池田 響太

京都教区では今年も中学生が広島平和巡礼に行きます。何十年も続くこの巡礼に関われることを嬉しく思います。



2018年 中学生会広島平和巡礼

今年も去年と同様、濟州教区の中学生も参加してくれます。濟州教区と京都教区の中学生が一緒になって広島で平和について考えていきたいと思ひます。

この広島巡礼は、中学生が平和について考えられる場所です。それは、リーダーをしている私達も同じです。私達は、春からこの広島平和巡礼の準備をしています。中学生だけではなく、リーダーをしている私達も平和について深く考えられる良い機会になっています。改めて「平和」の素晴らしさに気付かされています。広島平和巡礼に参加してくれる、中学生にも戦争や平和について3日間で多くのことを考え、感じてもらえることを望んでいます。

この広島平和巡礼が中学生・リーダー・神父様とすべての巡礼に関わる人達に、実りのある有意義なものになりますように、皆様のお祈りをお願いします。

〔青年センターHP〕 携帯からでもご覧いただけます。 <http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

青年センターあんでな

大塚司教の

8月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



1日Ⓢ 第13回 京都教区カトリック学校
教職員修養会(河原町教会)

4日Ⓢ 15:00 第32回 比叡山宗教サミット
「世界宗教者平和の祈りの集い」

5日Ⓢ-7日Ⓢ 教区中学生広島平和巡礼

13日Ⓢ 11:00 中央協議会 会議

26日Ⓢ-27日Ⓢ 教区神学生 合宿

29日Ⓢ 17:30 カトリック学校委員会

30日Ⓢ 13:00 福者ユスト高山右近 関連会議
(玉造教会)

31日Ⓢ 10:00 教区 教会学校教師 研修会
(河原町教会)

京都教区本部事務局からのお知らせ

河原町カトリック会館の建て替えにともない、2019年10月31日をもってカトリック会館に入っている司教館、本部事務局、福音宣教企画室、諸委員会（広報委員会、聖書委員会、信仰教育委員会、衣笠墓地管理委員会、正義と平和協議会）は、カトリック西陣教会の青年会館内に仮本部事務局を置き、そちらに移転することとなりました。その引っ越し業務のために10月23日（水）～25日（金）は本部事務局、福音宣教企画室、諸委員会は休業となります。皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。

尚、移転後も電話、ファックスは今までの通りご使用できます。但し、諸委員会についての問い合わせは、本部事務局宛にお電話いただきますようお願いいたします。郵便物も今までどおりの住所で結構です。それでは、いろいろとご迷惑をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。

【休業日】 10月23日（水）～25日（金）

【移転先】 カトリック西陣教会 青年会館

2019年 8月
カトリック京都司教区
本部事務局 北村善朗